

平成28年度 委員会活動報告

組織強化委員会 委員長 松浦裕計

当委員会は、ネットワークの組織運営の見直しや、運営基盤の強化を図る目的で設置された委員会です。基幹会議の運営変更などを提案したいと考えております。

また、今年は理事対象に勉強会や研修の機会を設けました。第1回はボランティアネイバーズの三島さんにお話し、「中間支援団体の役割や現状把握及び、今後の組織の在り方」についての講演と意見交換を行いました。第2回は、地域福祉サポートちたの岡本さんのコーディネートにより、「地域との協働 先進地バスツアー視察」を行いました。視察当日、知多市市民活動センターには行政視察など他の団体も見え、少なからず他の自治体も課題は似通っていると感じました。

視察先の南粕谷ハウスは住民が運営している地域のサロンになります。その立ち上げには中間支援組織「地域福祉サポートちた」が行った資金や地域の意見のとりまとめ等支援が不可欠だったようです。私は、小牧市やこまき市民活動ネットワークが特に遅れているとは思いませんでした。結論はそこに住む人の思いが繋がったときシナジー効果が起こり、まちづくりが少し前に進むとのだ感じて帰ってきました。その時のための力を今はつける事ではないでしょうか。今後も運営資金、会員拡大、事務局運営等を委員会で議論していきたいと思っております。



協働推進プロジェクト委員会 委員長 伊藤大悟

当委員会は、小牧市が行っている各課の事業について“協働の可能性”の視点において多角面から精査を行うプロジェクトを担う委員会として設置されました。

本年度は、小牧市の行う事業のうち法定受託事業事務及び施設整備事業を除くすべての事業（約210事業）のうち、協働事業化の可能性や効果性の高いものを30～50事業の選定を行っております。また、このプロジェクトの実施は小牧市協働推進課と協働で取り組みをさせていただいております。



既に「第6次小牧市総合計新基本計画」「都市計画マスターズプラン」「第3次小牧市生涯学習推進計画」など、小牧市の示す冊子を読み込み協働の可能性のある各項目のピックアップを終えております。

今後の流れとしては、現在実施している事業等の内容分析また、実現可能な事業の選定と次年度へ引き次ぐための作業に入っていきます。

小牧に今以上に協働の波が押し寄せるよう、小牧市協働推進課と共に市民・各団体・企業・行政の懸け橋となるべくこのプロジェクトを推進していきます。

地域調査プロジェクト委員会 委員長 鳥居由香里



地域調査プロジェクト委員会は、2020ビジョンやVプロジェクトの調査結果を基に、中期方針を打ち立て、高齢化対策と次世代育成を重要とし、そのために地域で市民活動の育成を図ることを大事とし、地域調査と提案をします。

具体的には、小牧市内の少子高齢化に対して、地域別課題と市民活動団体の実態調査です。5年計画で、地域調査し把握後、地域の活性化を図る。今期は、地域調査と把握として、地域の中にある困りごとの解決のヒントを、地域で取り組む様々な活動の好事例収集と分析に取り組みました。地域好事例収集として活動シート作成し、会員に広報して収集分析。実態把握として、各種の調査資料の確認やまちのかたり場のファシリテーターとして参加。

今期の反省として、地域活動シート収集率が、低いですが、新たな活動団体の把握に繋がり、地域に役立つ好事例把握できた。地域の役員や市民活動団体の会合に参加することで、生の声の把握と交流できたことが、地域の連携ができやすくなる。

今後は、会員特派員や広報媒体で地域活動シート収集率向上させ、生の声や団体分析し、好事例発表や地域と団体を繋ぐ企画に発展することを期待する。



池之内市民菜園便り(最終回)

11月6日(日)、菜園ではすっかり恒例行事となった秋の収穫祭を青年の家で開催し、スタッフ合わせて24人が参加しました。

厨房班と食堂班に分かれて、それぞれ手際よく調理に取りかかり、持ち寄った野菜でトン汁や炊き込みご飯をメインに、サツマイモのてんぷら、長いも、枝豆、レタスなどがテーブルに並び、美味しくいただきながら交流を深めました。



▲菜園ではなかなか会えない人と交流ができるのも収穫祭の楽しみのひとつです。

1月29日(日)、池之内会館で、平成28年度の総会を開催しました。写真を映しながら、橋本農業アドバイザーより1年の振り返りをしていただき、新旧役員との紹介と挨拶がありました。

こまき市民活動ネットワークの運営は、今年度で終了し、来年度からは新たな体制でのスタートとなります。今まで、ありがとうございました。



▲総会後は、地元の飲食店で食事会を開催。楽しく賑やかに歓談しました。